

科目名	漢文学			科目コード	1318
開講学科	教職課程	単位数	4	形態	講義
教員名	鷲原具仁子				
授業の目的及びテーマ					
日本の文化に大きな影響を与えた、中国の有名な古典作品を読んでゆく。基礎的な漢文読解能力の習得と、それに伴う基礎的な読解技術の習熟を目指す。					
授業概要					
漢文を読むために必要な漢文訓読（書き下し）の方法について、中学・高校で基本事項は習っているはずだが、テキスト第一章「漢文初歩」を読んで再確認し、その上で、実際に個々の作品を読んでゆくことで、読解能力の向上と、故事成語や漢文についての知識の定着を図る。					
授業計画					
第 1 回：漢文を読むための基本的な文法事項について（返点や構文）					
第 2 回：漢文を読むために必要な知識・情報について（読めない、分からない時に、どのように対処するか）					
第 3 回：故事成語（1）日本でもよく知られた故事成語の出典を原文で読み、漢語に対する理解を深める。 「刻舟求剣」（舟に刻んで剣を求む）					
第 4 回：故事成語（2）「狐假虎威」（狐、虎の威を假る）					
第 5 回：故事成語（3）「朝三暮四」					
第 6 回：陶潜（淵明）の「桃花源記」（1）作者について					
第 7 回：陶潜（淵明）の「桃花源記」（2）一般社会と隔絶した桃花源に、偶然紛れ込んでしまった漁師の話					
第 8 回：陶潜（淵明）の「桃花源記」（2）一人の漁師が、思いがけず、洞窟を抜けて異界を訪れてしまうが、その異界は平凡な農村であった。村の様子がどのように描かれているか読み取ろう。					
第 9 回：陶潜（淵明）の「桃花源記」（3）桃花源の村が、外の世界と異なるのはどこか。					
第 10 回：陶潜（淵明）の「桃花源記」（4）高位の者も、高德の者も、行こうとして行けなかった桃花源の村。 作者の意図はどこにあるか。					
第 11 回：歴史書に描かれた人間模様（1）歴史書『十八史略』について					
第 12 回：歴史書に描かれた人間模様（2）「臥薪嘗胆」（『十八史略』） 国と国との対立の時代。その歴史的背景を知る。					
第 13 回：歴史書に描かれた人間模様（3）「臥薪嘗胆」（『十八史略』） 復讐への執念を読み取る。					
第 14 回：歴史書に描かれた人間模様（4）「刎頸之交」（『十八史略』） 国と国との命がけの外交が行われた歴史的背景を知る。					
第 15 回：歴史書に描かれた人間模様（5）「刎頸之交」（『十八史略』） 知恵と胆力で、王に仕える家臣たち。					
テキスト	「漢文入門」 榊原邦彦・伊藤一重・松浦由起・濱千代美 いずみ編（和泉書院）		参考文献	「呂氏春秋」・「戦国策」・「列士」・「陶淵明」・ 「陶淵明全集」「陶淵明―虚構の詩人」・「十八史略」各著書の詳細は、学習指導書にてご確認ください。	
評価方法：					
課題 4 課題による					